

普及項目	担い手
漁業種類等	-
対象魚類	-
対象海域	八代海

魚類養殖体験教室による担い手確保の取り組み

天草広域本部水産課・金棒 千明

【背景・目的・目標（指標）】

天草地区は水産業が基幹産業であり、特に魚類養殖業が盛んであるが、他地区と同様に漁業の担い手不足が課題となっている。そのため、天草地区漁業士会では活動の一環として後継者育成の取組みを推進している。

そこで、地区の基幹産業である魚類養殖業について、地元高校生の理解と関心を高め、卒業後の就職先の候補として関心を持たせることを目的に、魚類養殖業を営んでいる漁業者による職業講話と体験教室を実施した

なお、本年度は、魚類養殖体験教室に参加した生徒のうち、50%が水産業への就職について関心を持つことを目標とした。

【普及の内容・特徴】

日時：令和4年（2022年）10月19日

場所：熊本県上天草市大道地先のマダイ養殖場及び熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所

参加者：熊本県立天草高校倉岳校1年生8名、同校教諭3名、天草地区漁業士1名
熊本県海水養殖組合職員2名、熊本県天草広域本部水産課1名

内容：

学生と教諭は、マダイ養殖場において、漁業士の指導のもと、給餌体験や近隣の生簀で行われていたマダイの出荷作業を見学した。その後、熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所に移動し、同事業所職員の案内で高度衛生管理加工施設等の見学及びマダイの神経締め等の作業を体験するとともに、漁業士から仕事内容や仕事に対する考え方等の職業講話を聴いた。

漁業士と水産課は、体験教室に参加した生徒の水産業への就職に関する意識の変化を確認するため、体験教室実施の前後でアンケート調査を行った。

また、水産課は、漁業士会事務局として、本取組みに係る実施内容及び関係者との調整について、助言・指導を行った。

【成果・活用】

教室開催前に実施したアンケート調査では、水産業への就職について「とても関心がある」「やや関心がある」と回答した生徒は29%だったのに対して、「どちらでもない」「やや関心がない」「まったく関心がない」と回答した生徒は71%であり、水産業への就職の関心は低かった。

一方、教室開催後に実施したアンケート調査では、水産業への就職について「やや関心がある」と回答した生徒は71%と開催前より上昇していたのに対して、「どちらでもない」と回答した生徒は29%、「やや関心がない」「まったく関心がない」と回答した生徒はゼロであり、体験教室の実施により、水産業への就職について関心を高めることができた。

今後も、本取組みへの助言・指導を継続するとともに、就業希望者を対象とした研修

事業の受け入れ態勢を整備するなど、漁業の担い手確保に取り組みたい。

【達成度自己評価】

5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）



図1 養殖魚への給餌体験



図2 養殖業についての質疑応答



図3 高度衛生管理加工施設等の見学



図4 マダイの神経締め等の作業体験



図5 マダイの出荷作業の見学



図6 漁業士による職業講話